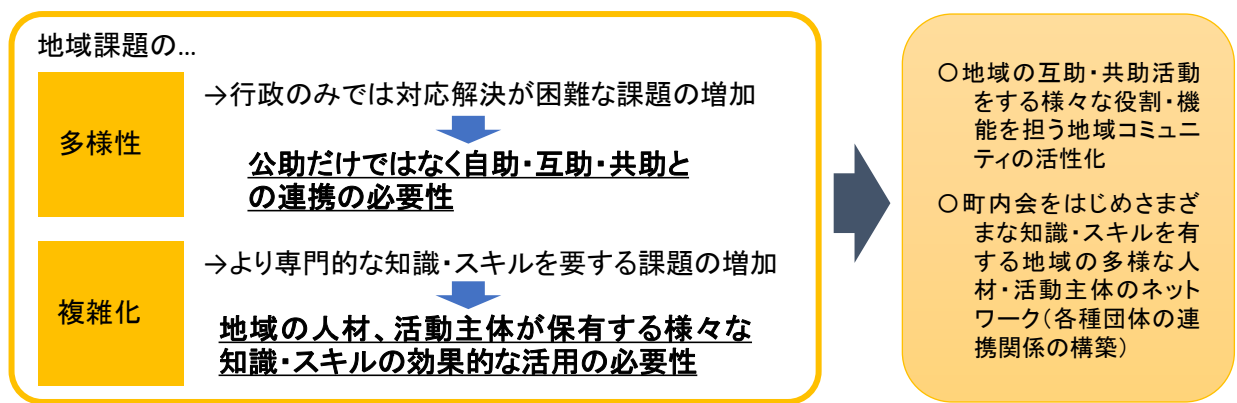


1 地域コミュニティの現状と課題について

(1) 札幌市の人口の現状

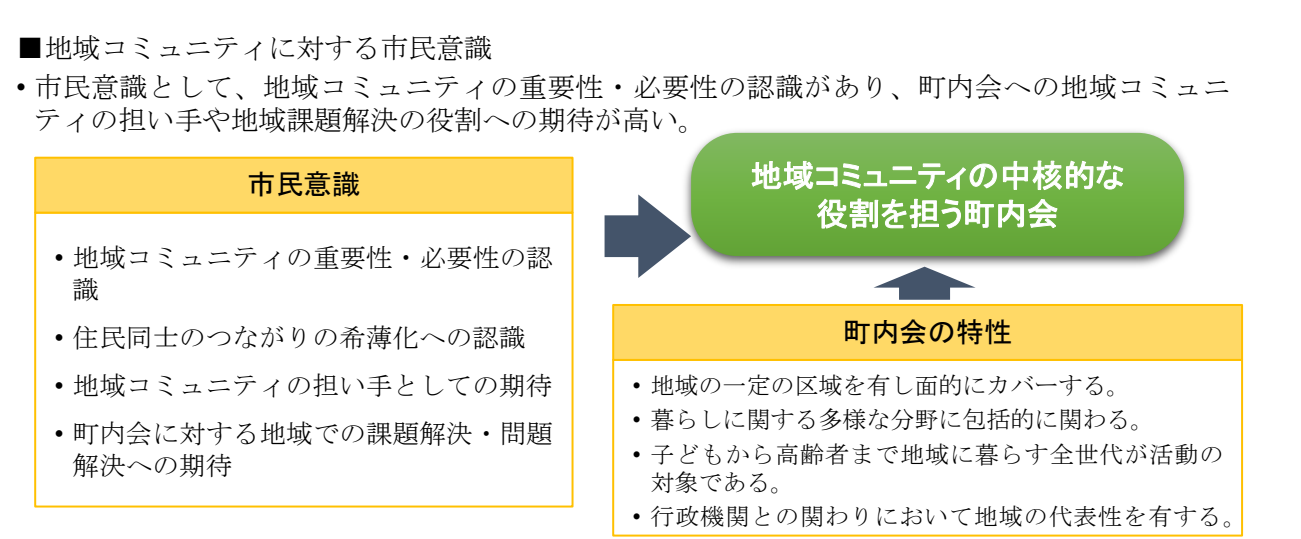
- 人口推移と高齢化
 - ・人口は平成27(2015)年頃をピークに人口減少へ転じるとの推計がある。
 - ・高齢化率は、年々高まり、平成47(2035)年では35.1%と、3人に1人以上が高齢者となるとの見込み。
 - ・平成32(2020)年には、8世帯に1世帯が高齢の単身世帯となる見込み。
- 区別の人口の状況
 - ・区別の人口は、中央区のみ増加傾向。
 - ・地区別では、都心部においても一部の地区を除き人口減少に転じ、減少の地区的格差が顕著となる。
- 将来推計人口と高齢化・人口密度
 - ・地区別の高齢化は、老年人口比率30%超の地区が、平成32(2020)年には全体の1/3超となる32地区に拡大すると推計。
 - ・特に郊外部では、高齢化と同時に人口密度の低下も顕著となる。
- 人口減少・高齢化に伴う課題
 - ・人口減少・高齢化に伴い、地域の課題は多様となり複雑化する。



(2) 札幌市における地域コミュニティの状況

- 地域コミュニティとは
 - ・コミュニティとは地縁、血縁、文化的背景、価値観などに基づく共同体。そのうち、地縁的な要素の大きいものが地域コミュニティ。
- 地域コミュニティを構成する団体
 - ・地域においては様々なコミュニティ組織があり、サークルやNPOなどのテーマ型コミュニティとともに、町内会はエリア性があり多様な分野を包括していることが特徴。
- 各団体の特徴比較
 - ・町内会：一定の地理的領域を範囲として有し、多様な対象に対する日常的な活動を行う。地域の代表性を有する。
 - ・マンション管理組合：居住環境としてのマンションが対象であり、建物を維持管理を基本とした共益的取組を行うが、区分所有者は必ずしも居住しているとは限らない。
 - ・PTA：学校を中心とした区域を範囲とし、子どもを持つ保護者世代が主となり、児童生徒のテーマが明確。
 - ・NPO：特定の目的を使命とした活動を行う。
- 地域コミュニティのネットワーク
 - ・地域には連合町内会をはじめ、まちづくり協議会や区民協議会など各団体が連携している。

(2) 札幌市における地域コミュニティの状況



(3) 町内会の現状と課題

- 町内会による活動
 - ・住民同士の親睦交流、防犯・防災、ごみの管理や除雪など、幅広い活動を行っている。
- 町内会組織の現状
 - ・町内会の加入世帯は増加。一方で、町内会加入率は低下。特に、若い世代の加入率が低い。
 - ・加入率は地区によって異なり、賃貸共同住宅が多い地域は加入率が低く、賃貸共同住宅が少ない(持家が多い)地域は加入率が高い傾向が見られる。
- 町内会の運営についての課題
 - ・運営上の課題は、「役員のなり手が不足している」、「特定の人しか参加しない」、「役員が高齢化している」など、活動の担い手不足が大きな課題となっている。
 - ・また、特にNPOや民間企業などとの連携は少ない状況である。



(4) 地域課題と町内会活動

- ・課題として、高齢化や参加者の固定化に伴う「高齢者の負担増加」への課題認識が高く、他の組織との連携の重要性が高い。また、高齢者の引きこもりの課題認識も高い。

委員コメント

- 戸建と共同住宅、それぞれ抱えている課題が違う。戸建の課題と共同住宅に住んでいる方の課題のギャップがあるのでは。
- 子育て世代の繋がりを作り、そこから町内会への関心を向けていき、楽しいイメージを持ってもらうことが、今後の地域を支えていく上では重要。
- 地域のお祭りに町内会のブースを作ってアピールしており、そこで丁寧に説明することで加入が促進された。こちらからも目立つ所に出て行ってアピールしながら加入促進に繋げていくことが大事だと痛切に感じているところ。
- マンションについては、最初のアプローチが一番肝心。建てる側と町内会側とが一緒に協力して物事を進めて行ければ。
- 「マンション」について町内会のみんなで情報共有しながらスキルを上げていくことが必要。

2 市民、町内会関係者からの意見集約について

(1) 地域コミュニティワークショップ(無作為抽出)

- 目的
 - 町内会を中心に、地域コミュニティのあり方やその活性化の促進に関して、幅広い世代の市民の意見を把握するためワークショップを開催。
- 開催日時・場所
 - 日時：平成27年12月19日(土) 13時00分～16時00分
 - 場所：かでの2・7 10階1040会議室
- 参加者及び方法
 - 市民30名程度(5～6名程度のグループに分かれたワークショップ形式で実施)
- テーマ
 - 「札幌の地域コミュニティと町内会」

- 地域における課題とあるべき姿に対する市民意識を把握するとともに、市民が考える「市民」「町内会」「市民活動団体」「企業・事業所」の地域コミュニティでのそれぞれの役割(なすべきこと)を抽出し、各主体が役割を担うために行政が求められることを把握する。

- ワークショップの内容
 - 札幌市の地域コミュニティに関する現状について情報提供した後、3つのステップに分けて、グループごとの意見交換を行う。

【ワークショップ①】(20分)

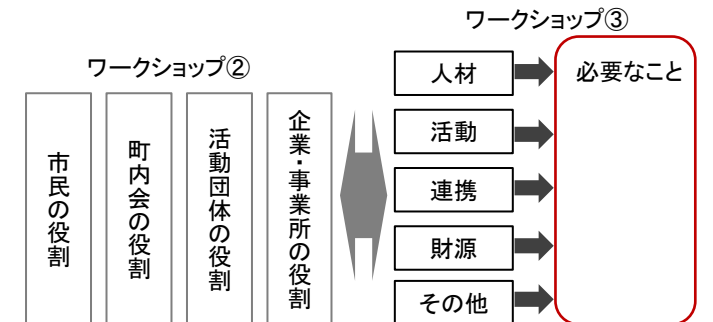
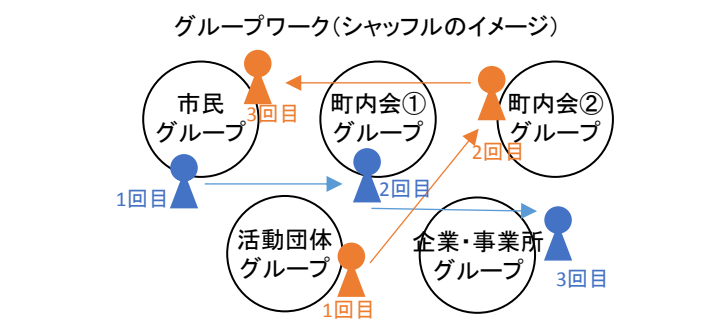
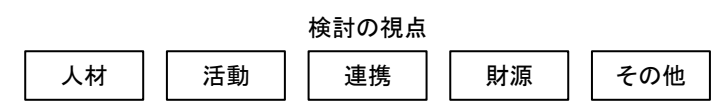
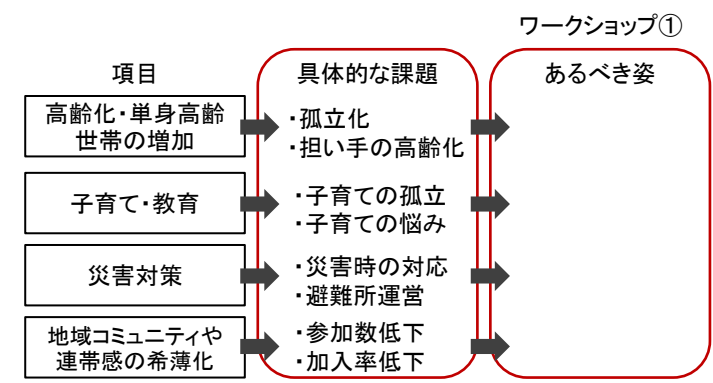
- 「地域課題とあるべき姿」
- 社会背景を踏まえた地域課題に関する項目やそれに関する具体的な課題を提示。
- それぞれの項目に対して考えられる「あるべき姿」を出してもらう。

【ワークショップ②】(15分×3回)

- 「地域コミュニティの活性化に向けた役割」
- 前述の地域の様々な課題を踏まえて、地域コミュニティの活性化における「人材」「活動」「連携」「財源」の視点から、地域課題を解決するために求める各主体の役割について出してもらう。
- グループごとに検討する主体を設定し、グループメンバーをシャッフルしながら、主体ごとの視点から役割を考えてもらう(3回シャッフル)。

【ワークショップ③】(20分)

- 「各主体が役割を担うために必要なこと」
- ワークショップ①のグループに戻り、出された各主体の役割をそれぞれ担っていくために、必要なことを出してもらう。



(2) 地域コミュニティワークショップ(町内会対象)

- 目的
 - 市内の町内会長及び役員を対象に、地域課題解決に係る町内会の役割、それらに関わる課題などを把握するため、ワークショップを開催する。
- 開催日時・場所
 - 日時：平成28年2月20日(土) 13時00分～16時00分
 - 場所：さっぽろテレビ塔2階
- 参加者及び方法
 - 町内会役員等30名程度(5～6名程度のグループに分かれたワークショップ形式で実施)
- テーマ
 - 「札幌の地域コミュニティと町内会について」 ※詳細は調整中

(3) 町内会に関するアンケート

- 目的
 - 市内の単位町内会の会長を対象に、町内会の基礎的情報や現状、町内会のあるべき姿、活動活性化に求められることなどについて把握するため、アンケート調査を行う。(※なお、単位町内会長向けの同様のアンケートは、平成22年度および平成18年度に実施している。)
- 実施時期
 - 平成28年2月上旬～中旬に配布(回収・集計は3月中旬を想定)
- 対象
 - 市内の単位町内会の会長(約2,200人)
- 『町内会に関するアンケート』調査項目(案)
 - ※★は本調査での新規設問。それ以外は過年度との比較のため同様の内容とする。

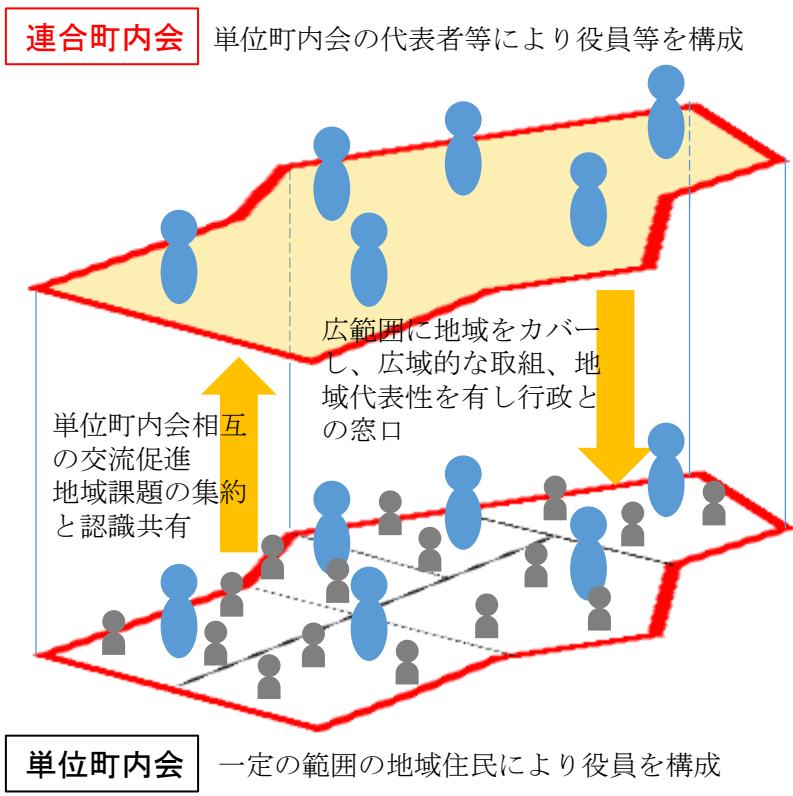
I 町内会の概要について	
(1)	加入世帯数、班数、結成時期、区、決算額、町内会費、パートナーシップ除雪
(2)	総会の参加状況
(3)	組織や委員会
(4)	町内会館や集会所の有無、建築する際の求められる補助事業等
II 町内会活動について	
(1)	各種活動の有無、活動頻度、参加状況、連携状況
(2)	活動の拠点や施設
(3)	情報発信の方法、頻度
(4)	町内会活動を行っていくうえでの課題
(5)	町内会活動活性化に向けて求められる市の取組
(6)	今後の各種活動の意向、新たな活動での連携の意向
III 市との関係について	
(1)	市からの依頼事項、作業に対する必要性和負担感
(2)	町内会活動の充実に向けて市が積極的に行うべきこと【自由回答】
IV 地域コミュニティと町内会について★	
(1)	地域コミュニティにおける住民・町内会・他団体の担うべき役割や活動、それらに取り組む際の課題
(2)	町内会の地域コミュニティでの目指すあり方、ネットワーク
(3)	担うべき役割や課題への対応、目指すあり方に向けて、市の支援を求めること(条例化に対する意識を含む)
V 会長さんご自身について	
(1)	年齢、性別、職業、会長歴

3 連合町内会・単位町内会について

(1) 札幌市の連合町内会と単位町内会

■連合町内会とは

- 一定のエリアにある単位町内会・自治会が一つにまとめ組織されたもの。
- 面的エリアにおいて、各種団体の連絡調整及び地区住民の親睦と福祉の推進、共益活動、地域課題の解決の役割を担う。
- 単位町内会の会長などの代表者等が連合町内会の組織の役員を担う。



- スケールメリットを生かしたまちづくり
- ・一つの単位町内会では難しい地域課題の解決
- ・広域的な取組や地域行事の開催
- 単位町内会の情報収集と伝達
- ・市や各単位町内会の情報の伝達
- ・単位町内会の活動促進のためのノウハウ提供
- 団体の連携
- ・行政と緊密性があり一定の目的を持った地域の関連団体（まちセン単位に設置、地区社協・民児協等）との調整・窓口
- ・各団体との効果的・効率的な連携

【他都市の状況と比較】

・地域の連合体組織の性質は地域ごとに多様なものであるが、おおむね校区（小学校又は中学など）などを単位をしている地域が多い。

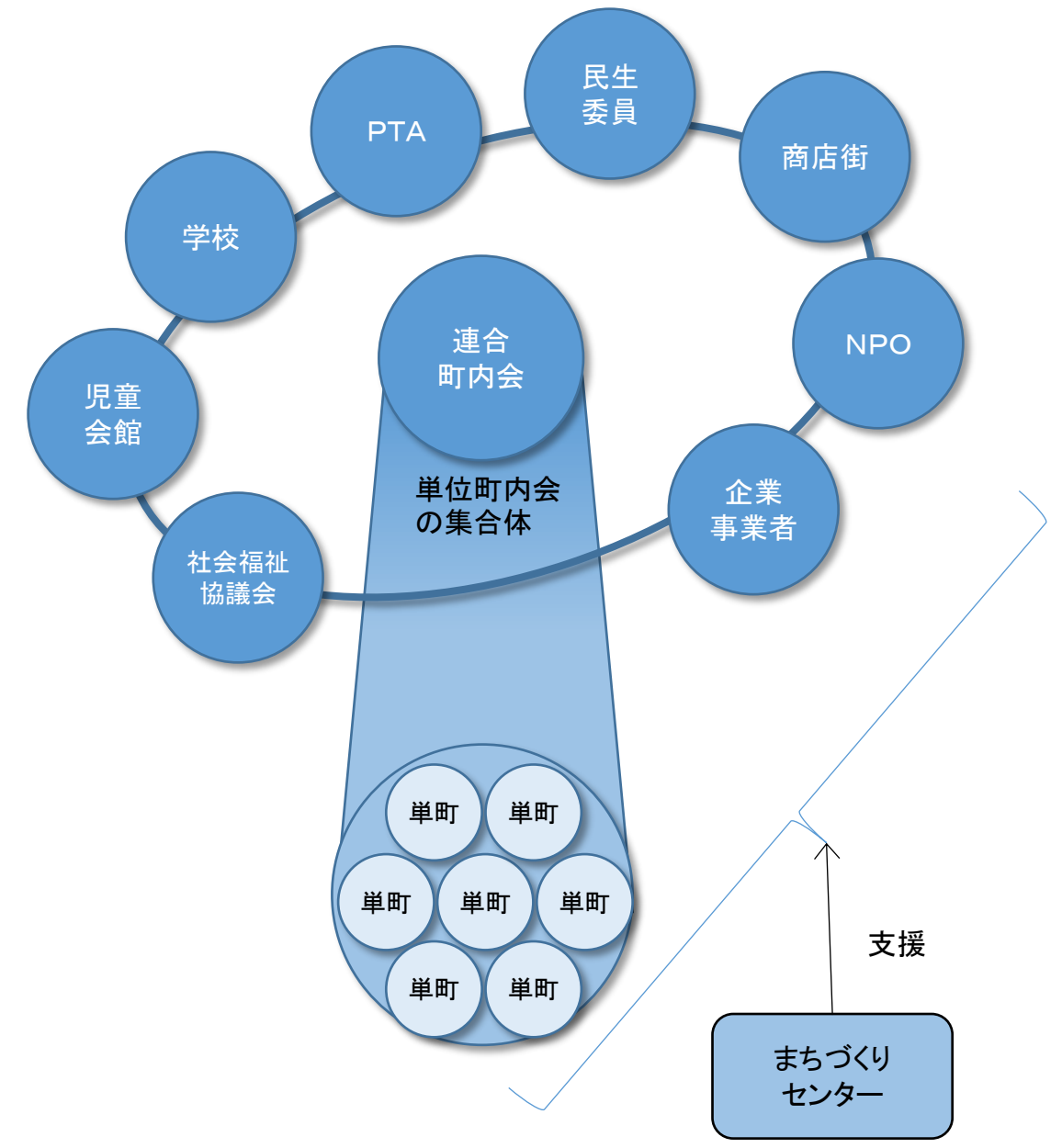
例)横浜市との比較	横浜市	札幌市
市レベル	市町内会連合会	区民協議会
区レベル	区連合町内会	まちづくり協議会
地区レベル	地区連合町内会	連合町内会
地域レベル	自治会町内会	単位町内会

行政 (事務局) | 町内会役員

(2) 札幌市の地域のコミュニティ組織とまちづくり協議会

- ・まちづくり協議会は、まちづくりセンター単位で、連合町内会をはじめとした地域のさまざまなコミュニティ組織や団体がネットワークされ、地域課題に取り組む団体。
- ・連合町内会は単位町内会の集合体であり、連合町内会を通して単位町内会はまちづくり協議会に属している。
- ・まちづくりセンターは、情報提供などの支援を行う。

【まちづくり協議会のイメージ】



1 地域コミュニティの担うべき役割・あり方

(1) 地域コミュニティにおける課題とあるべき姿



2 地域コミュニティの担うべき役割・あり方

(2) 地域コミュニティにおける各主体の担うべき役割

地域課題の解決 に対して必要と なる事項	地域コミュニティに関わる各主体の役割				
	市民	町内会	地域活動団体	企業・事業所	行政
人材 (担い手育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・できることから参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体でのスキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への理解や意識向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の普及啓発
活動 (活動の活発化・ 参加促進)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズに対応した活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動への支援
連携 (地域資源・ノウハ ウの活用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体等の交流や連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルを活かした連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材や資金、場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携の場づくり
財源	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への加入（会費納入） 	<ul style="list-style-type: none"> ・公平な会費の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に適した財源の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への加入（会費） 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動資金の支援
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・